

第19回ゴイアス盆踊り  
山田大使挨拶（2021年8月28日（土））

皆さん、こんばんは。在ブラジル日本国大使の山田彰です。

本日はゴイアス盆踊りにお招きいただきまして、ありがとうございます。大使としてブラジルに着任して4年あまりがたちましたが、毎年直接この会場に訪れたいと思っておりました。本日、その夢が叶って、非常に幸せです。

まず、はじめに、第19回目となるゴイアス盆踊りの開催をお祝い申し上げます。

本イベントを企画されたゴイアス日伯文化協会の皆さん、そして、本企画を当館と共に支援いただきました、Bunkyoの関係者、ゴイアス州、ゴイアニア市関係者の皆さん、そしてご尽力された全ての皆さんに心より敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の流行という逆境を克服して、感染対策を行った上で多くの方々に参加いただけること、インターネットを通じてブラジル全土で多くの方が見ていただけること、日本国大使として、大変嬉しく思います。

ゴイアス盆踊りが毎年開催されるのは、何よりも日本からの移住者やその子孫がこれまで多くの試練を乗り越え、ブラジルの発展に貢献するとともに、様々な形で日本文化を継承・普及してこられた皆さんのご尽力あってこそのことだと思えます。

さて、盆踊りは、先祖の霊が家族のもとに帰ってくる期間と言い伝えられているお盆の期間に、祖先の霊を迎え送るための念仏踊りとして始まった日本の伝統行事です。地域の人々が一緒に踊ることで、踊る楽しさを共有し、結束を強める役割を果たしてきました。いまでも、日本の夏の風物詩の1つとされており、日本各地に様々な盆踊りがあります。東京オリンピックの閉会式でも紹介されたことは記憶に新しいと思います。

今回の盆踊りのテーマは、「UNIÃO, ESPERANÇA E SUPERAÇÃO」です。歌や太鼓演奏など様々な催しを、ここにいらっしゃる皆さんと、そしてインターネットでご覧になっている皆さんと楽しむことで、ブラジル全土の日系人みなさん同士や日本とブラジルが強い関係で結ばれることで、現在抱える多くの困難を克服して、明るい未来に向かっていくことを強く願っています。

有難うございました。